

常 磐 自 動 車 道  
谷和原管内遮音壁設置工事

設 計 図

令和 6 年 1 0 月

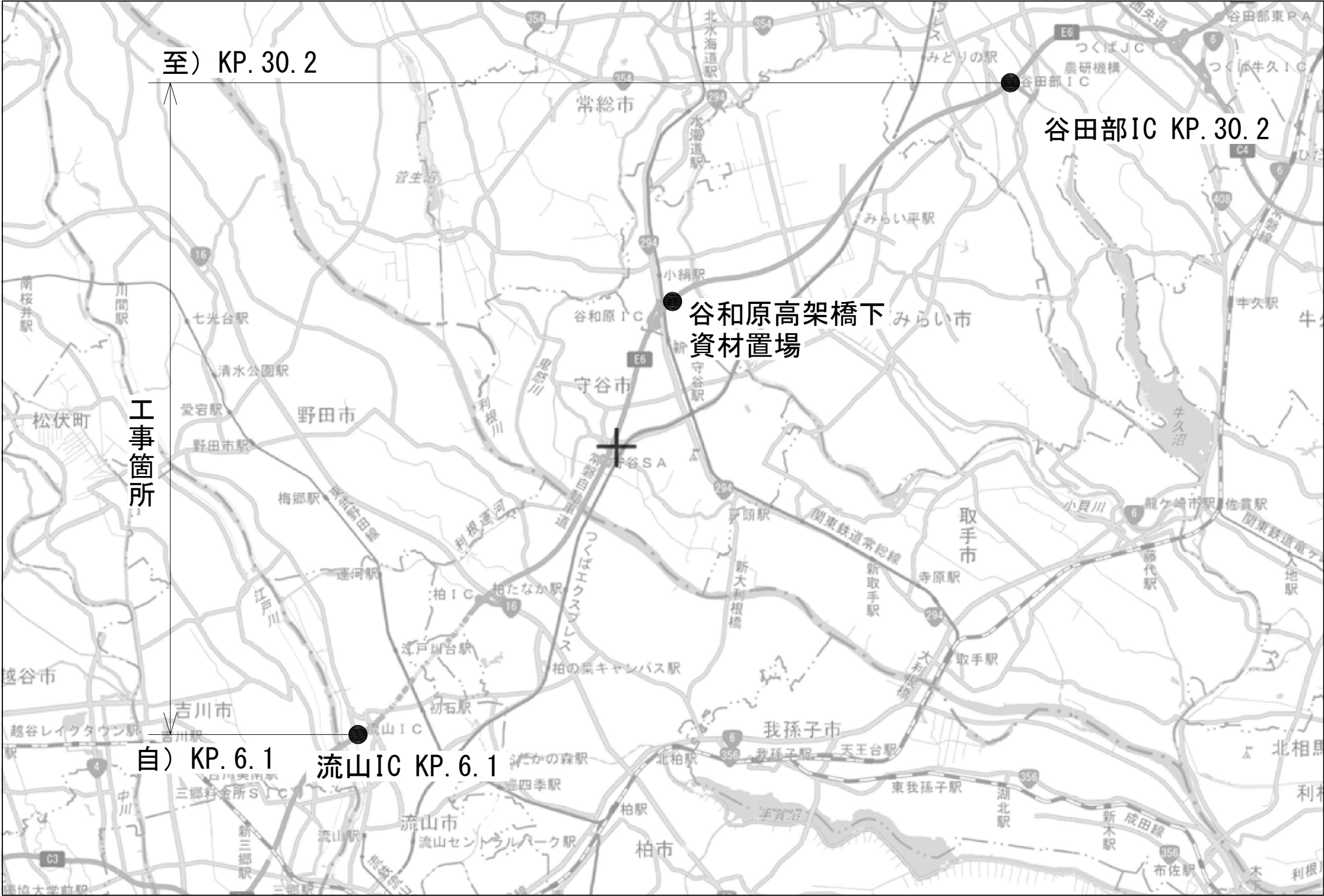
東日本高速道路株式会社 関東支社

谷 和 原 管 理 事 務 所

# 目 次

図面番号	図 面 名 称	枚数	縮 尺
1	位置図	1	—
2	数量総括表	1	—
3～10	平面図	8	1:1000
11, 12	遮音壁割付図	2	—
13	路面標示工詳細図	1	1:40
14	路面標示消去工詳細図	1	1:40
15～18	規制計画図	4	—
19	資材運搬経路図(参考図)	1	—
20	市道規制計画図(参考図)	1	—
21	迂回路計画図(参考図)	1	—
22	固定金具詳細図(参考図)	1	—
23	転落防止柵撤去工詳細図(参考図)	1	—

位置図



地理院地図（国土地理院）（<https://maps.gsi.go.jp/>）をもとに、東日本高速道路（株）が加工

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	位置図		
縮尺	NTS	図面番号	1 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

数量総括表

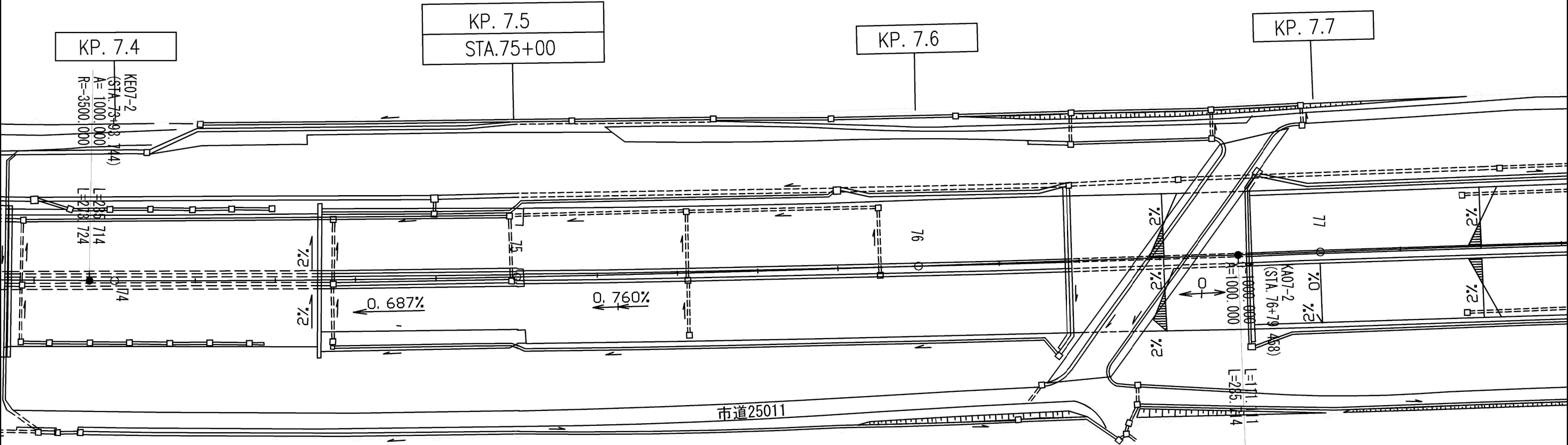
単価項目 番号	16-(3)		16-(4)		16-(5)	16-(7)		16-(23)		16-(24)
	基礎ぐい		標識柱		標識板	路面標示工		標識柱撤去工		標識板撤去工
	鋼管ぐい (Φ216.3, t=5.8)	鋼管ぐい (Φ267.4, t=6.6)	B1	D1	反射式 A	路面標示 標準型C1	路面標示 標準型C1(夜)	標識柱 B1	標識柱 D1	反射式 A
単位	m	m	基	基	m2	m2	m2	基	基	m2
数 量	12.0	5.0	1.0	6.0	9.8	12.0	24.0	1.0	6.0	9.8

単価項目 番号	18-(5)						18-(8)		18-(11)			18-(19)	
	遮音壁						支柱落下防止装置		遮音壁基礎ぐい			遮音板取替工	
	I -P(H=2m)M	I -P(H=3m)M	Ⅱ -P(H=2m)M	Ⅱ -P(H=3m)M	Ⅳ-O-4(H=2m) MI	Ⅳ-O-2(H=3m) MI	HS-B(H≦4m) A	HS-B(H≦4m) B	鋼管ぐい (Φ318.5, t=6.0)	鋼管ぐい (Φ355.6, t=6.4)	鋼管ぐい (Φ406.4, t=6.4)	A1(夜)	B1(夜)
単位	m	m	m	m	m	m	箇所	箇所	m	m	m	枚	枚
数 量	596.0	816.0	76.0	76.0	40.0	68.0	2.0	3.0	54.0	582.5	832.0	600.0	35.0

単価項目 番号	19-(1)					19-(2)				特-(1)	特-(2)	特-(3)	
	交通規制工					交通保安要員				試掘工	転落防止柵 撤去工	路面標示消去工	
	路肩規制 I×1A	1車線規制 I×1×0A1	1車線規制 I×1×0A2	2車線規制 Ⅱ×1×0A(夜)	2車線規制 Ⅳ×1×0B(夜)	交通監視員 A1(夜)	交通監視員 A2	交通監視員 A2(夜)	交通誘導警備員 B	A		A	A(夜)
単位	回	回	回	回	回	人・日	人・日	人・日	人・日	箇所	m	m	m
数 量	7.0	78.0	48.0	2.0	18.0	18.0	133.0	2.0	24.0	13.0	94.0	79.8	160.2



平面図(1) 縮尺1:1000

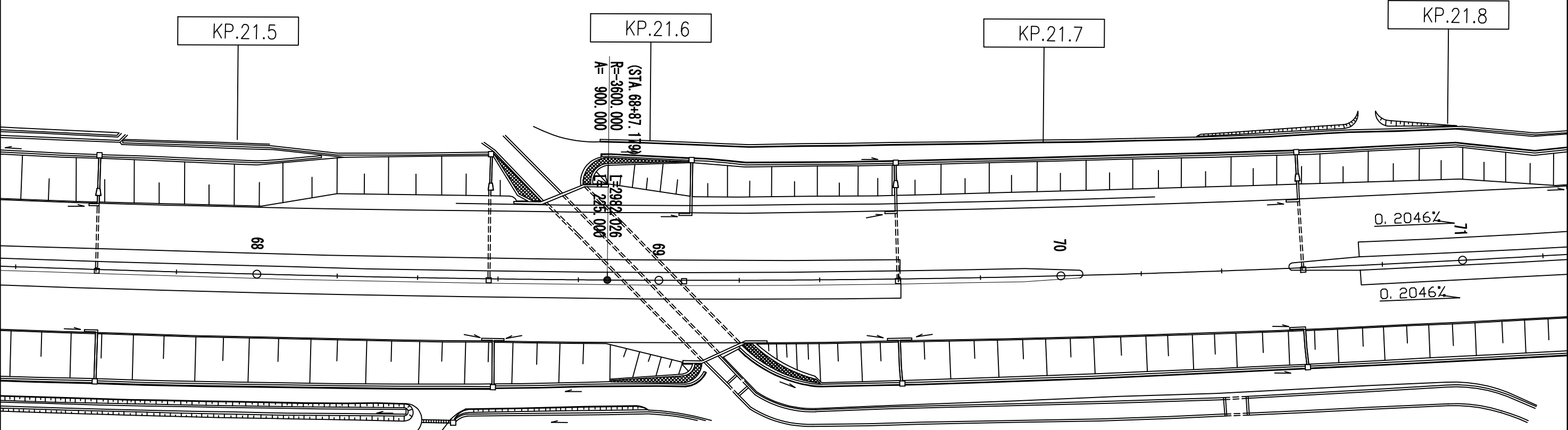


遮音板取替工 A1(夜) 600枚  
KP. 7. 510~KP. 7. 630

遮音板取替工 B1(夜) 35枚  
KP. 7. 560~KP. 7. 630

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平面図(1)		
縮 尺	1:1000	図面番号	3 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

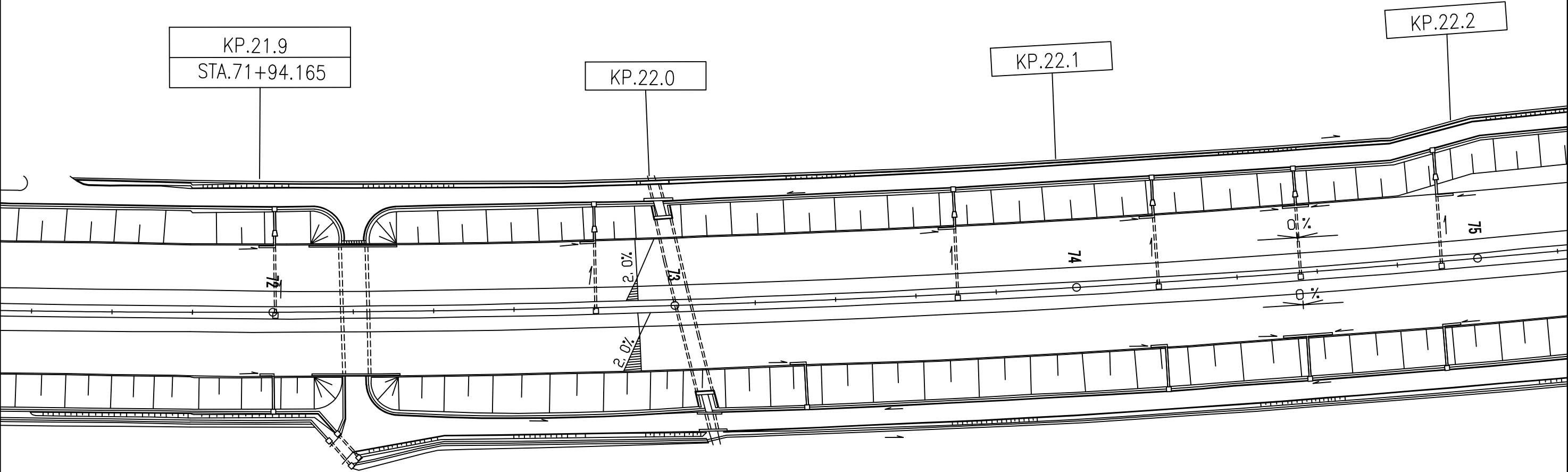
平面図(2) 縮尺1:1000



路面標示工 路面標示標準型C1(夜) 4.0m2 KP. 21. 600	路面標示工 路面標示標準型C1(夜) 4.0m2 KP. 21. 650	路面標示工 路面標示標準型C1(夜) 4.0m2 KP. 21. 700
路面標示工 路面標示標準型C1 2.0m2 KP. 21. 600	路面標示工 路面標示標準型C1 2.0m2 KP. 21. 650	路面標示工 路面標示標準型C1 2.0m2 KP. 21. 700
標識板 反射式A 1.1m2 標識柱 D1 1基 KP. 21. 600	標識板 反射式A 1.1m2 標識柱 D1 1基 KP. 21. 650	標識板 反射式A 1.5m2 標識柱 D1 1基 KP. 21. 700
基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ216.3, t=5.8) 2.0m KP. 21. 600	基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ216.3, t=5.8) 2.0m KP. 21. 650	基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ216.3, t=5.8) 2.0m KP. 21. 700

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平面図(2)		
縮尺	1:1000	図面番号	4 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

平面図(3) 縮尺1：1000

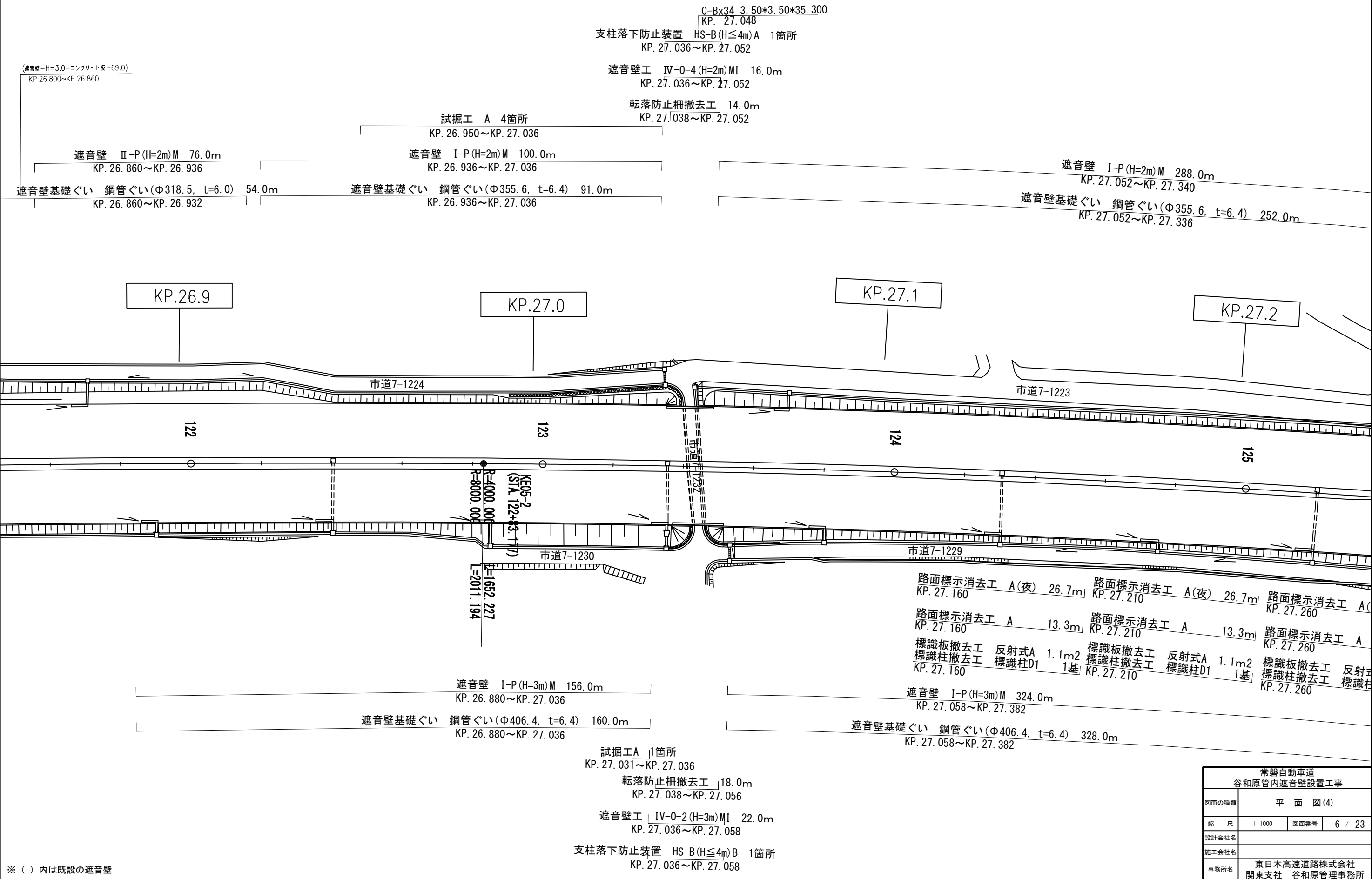


路面標示工 路面標示標準型C1(夜) 4.0m2 KP. 21. 900	路面標示工 路面標示標準型C1(夜) 4.0m2 KP. 21. 950	路面標示工 路面標示標準型C1(夜) 4.0m2 KP. 22. 000
路面標示工 路面標示標準型C1 2.0m2 KP. 21. 900	路面標示工 路面標示標準型C1 2.0m2 KP. 21. 950	路面標示工 路面標示標準型C1 2.0m2 KP. 22. 000
標識板 反射式A 1.1m2 標識柱 D1 1基 KP. 21. 900	標識板 反射式A 1.1m2 標識柱 D1 1基 KP. 21. 950	標識板 反射式A 1.5m2 標識柱 D1 1基 KP. 22. 000
基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ216.3, t=5.8) 2.0m KP. 21. 900	基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ216.3, t=5.8) 2.0m KP. 21. 950	基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ216.3, t=5.8) 2.0m KP. 22. 000

標識板 反射式A 2.4m2 標識柱 B1 1基 KP. 22. 200
基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ267.4, t=6.6) 5.0m KP. 22. 200

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平 面 図(3)		
縮 尺	1:1000	図面番号	5 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

平面図(4) 縮尺1：1000

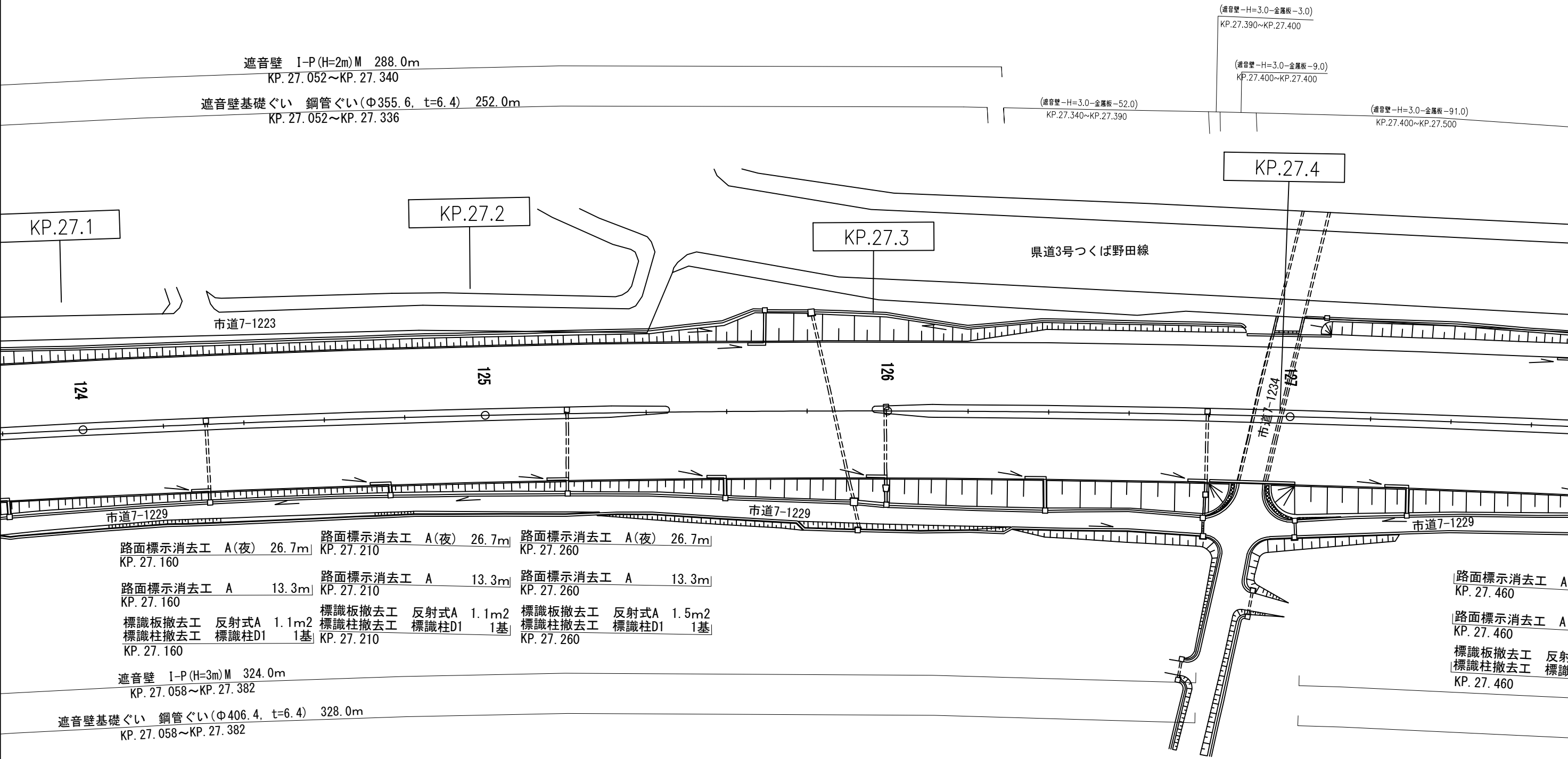


※ ( ) 内は既設の遮音壁

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平 面 図 (4)		
縮 尺	1:1000	図面番号	6 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

平面図(5) 縮尺1：1000

C-Bx35 6.50\*5.00\*37.758  
KP. 27.401



路面標示消去工 A(夜) 26.7m KP. 27.160	路面標示消去工 A(夜) 26.7m KP. 27.210	路面標示消去工 A(夜) 26.7m KP. 27.260
路面標示消去工 A 13.3m KP. 27.160	路面標示消去工 A 13.3m KP. 27.210	路面標示消去工 A 13.3m KP. 27.260
標識板撤去工 反射式A 1.1m2 標識柱撤去工 標識柱D1 1基 KP. 27.160	標識板撤去工 反射式A 1.1m2 標識柱撤去工 標識柱D1 1基 KP. 27.210	標識板撤去工 反射式A 1.5m2 標識柱撤去工 標識柱D1 1基 KP. 27.260

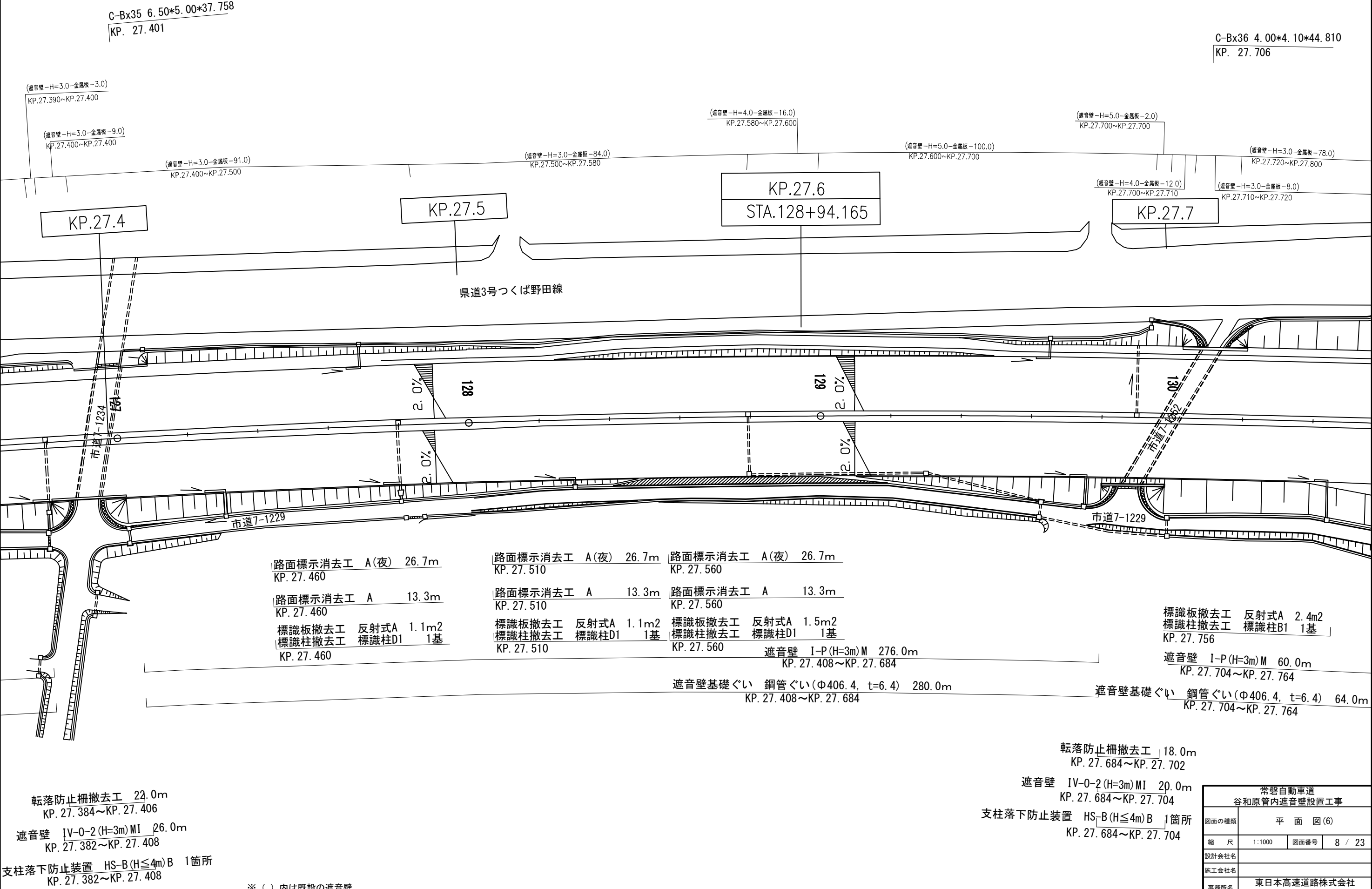
路面標示消去工 A KP. 27.460
路面標示消去工 A KP. 27.460
標識板撤去工 反射 標識柱撤去工 標識 KP. 27.460

※ ( ) 内は既設の遮音壁

転落防止柵撤去工 22.0m  
KP. 27.384~KP. 27.406  
遮音壁 [V-O-2(H=3m)MI] 26.0m  
KP. 27.382~KP. 27.408  
支柱落下防止装置 HS-B(H≤4m)B 1箇所  
KP. 27.382~KP. 27.408

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平面図(5)		
縮尺	1:1000	図面番号	7 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

平面図(6) 縮尺1:1000



常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平面図(6)		
縮尺	1:1000	図面番号	8 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

C-Bx37 6.00\*4.60\*44.740

KP. 27.915

支柱落下防止装置 HS-B ( $H \leq 4m$ ) A 1箇所

KP. 27.890~KP. 27.914

遮音壁 IV-0-4 (H=2m) MI 24.0m

KP. 27.890~KP. 27.914

転落防止柵撤去工 22.0m

KP. 27.892~KP. 27.914

C-Bx36 4.00\*4.10\*44.810

КР. 27.706

(遮音壁-H=3.0-金属板-18.0)

KP.27.800~KP.27.810

(遮音壁-H=5.0-金属板-2.0)  
KP.27.700~KP.27.700

(遮音壁-H=3.0-金属板-78.0)

KP.27.720~KP.27.800

(全宽 12.0)

KP 27.700~KP.27.710

(油底脚-H=3.0-金属板-8.0)

KP.27.710~KP.27.720

KP.27.7

KP.27.8

県道3号つくば野田線

KP.27.9

KP.28.0

県道

標識板撤去工 反射式A 2.4m2  
標識板撤去工 標識柱B1 1基

標識板撤去  
標識柱撤去

KP. 27. 756

遮音壁 I-P (H=3m) M 60.0m

KP. 27. 704~KP. 27. 764

遮音壁 II-P (H=3m) M 76.0m

KP. 27. 764~KP. 27. 840

(遮音壁-H=5.0-コンクリート板-54.0)

KP.27.840~KP.27.900

(遮音壁-H=5.0-金属板-8.0)

KP.27.920~KP.27.930

(遮音壁-H=4.0-コンクリート板-64.0)

KP.27.930~KP.28.000

遮音壁基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ406.4, t=6.4) 64.0m  
KP. 27.704~KP. 27.764

遮音壁基礎ぐい 鋼管ぐい(Φ355.6, t=6.4) 54.0m  
KP. 27.764~KP. 27.836

(遮音壁-H=5.0-コンクリート板-26.0)  
KP.27.900~KP.27.920

転落防止柵撤去工 18.0m  
KP. 27.684~KP. 27.702

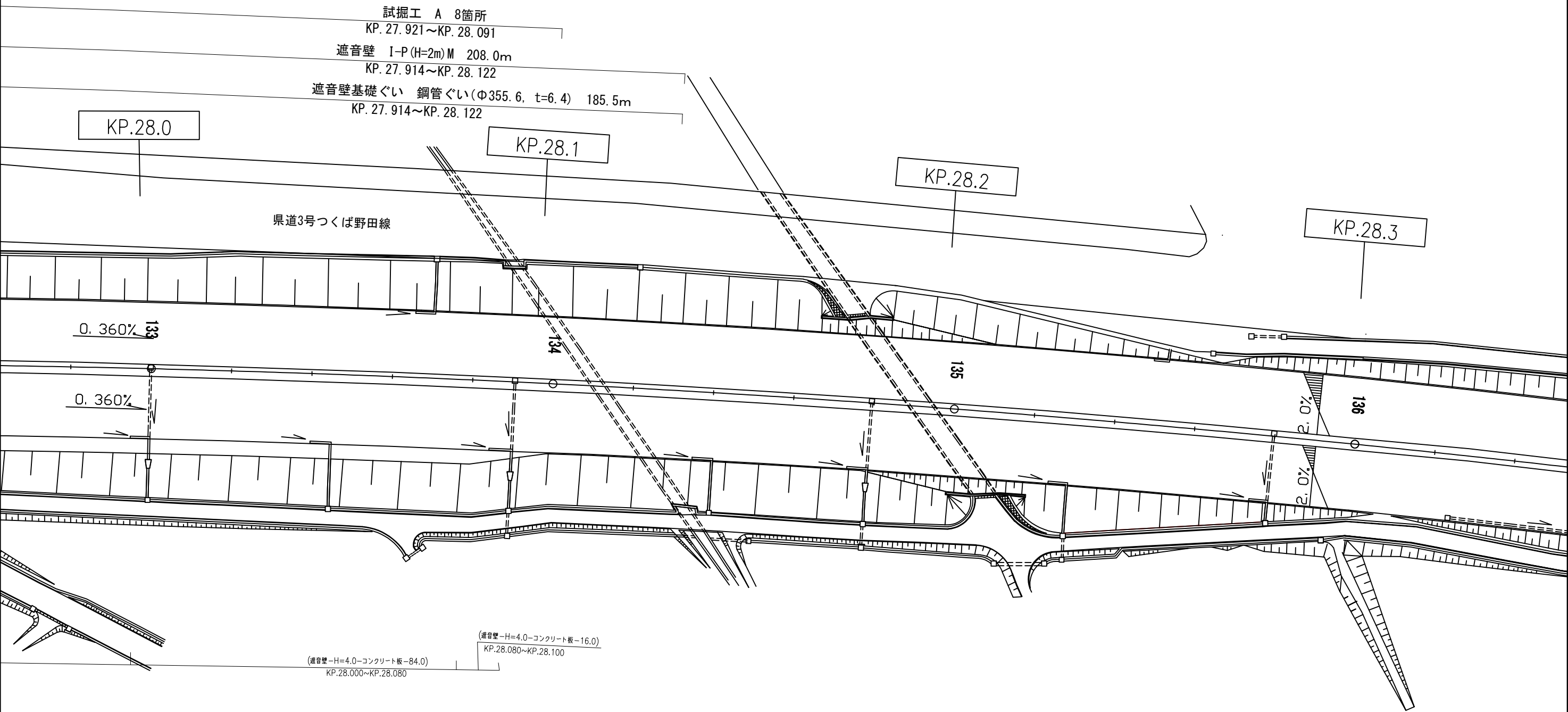
遮音壁 IV-0-2 (H=3m) MI 20.0m  
KP. 27.684~KP. 27.704

支柱落下防止装置 HS-B ( $H \leq 4m$ ) B 1箇所  
KP. 27. 684~KP. 27. 704

※ ( ) 内は既設の遮音壁

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平 面 図 (7)		
縮 尺	1:1000	図面番号	9 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

平面図(8) 縮尺1:1000

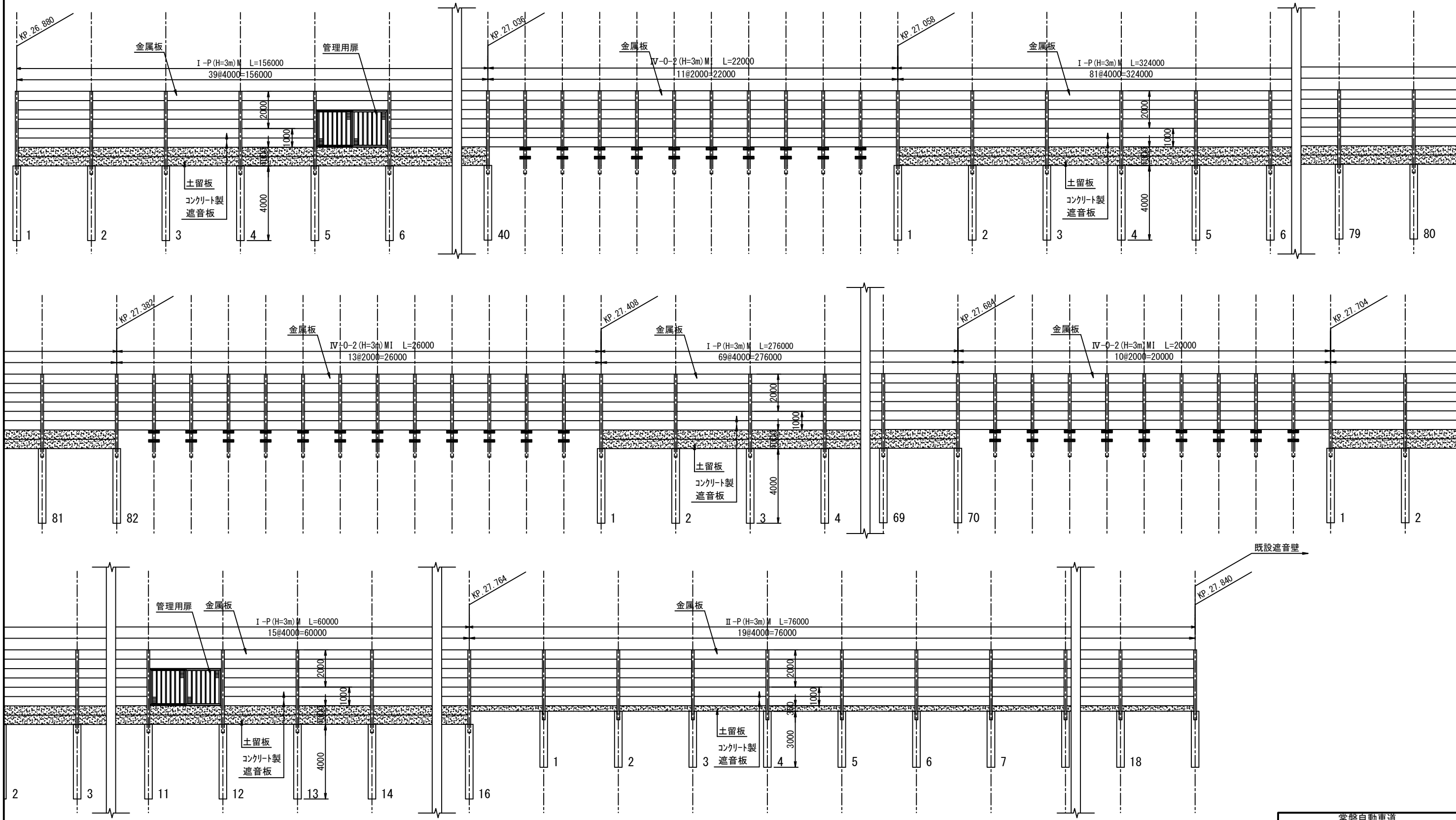


※ ( ) 内は既設の遮音壁

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	平面図(8)		
縮 尺	1:1000	図面番号	10 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

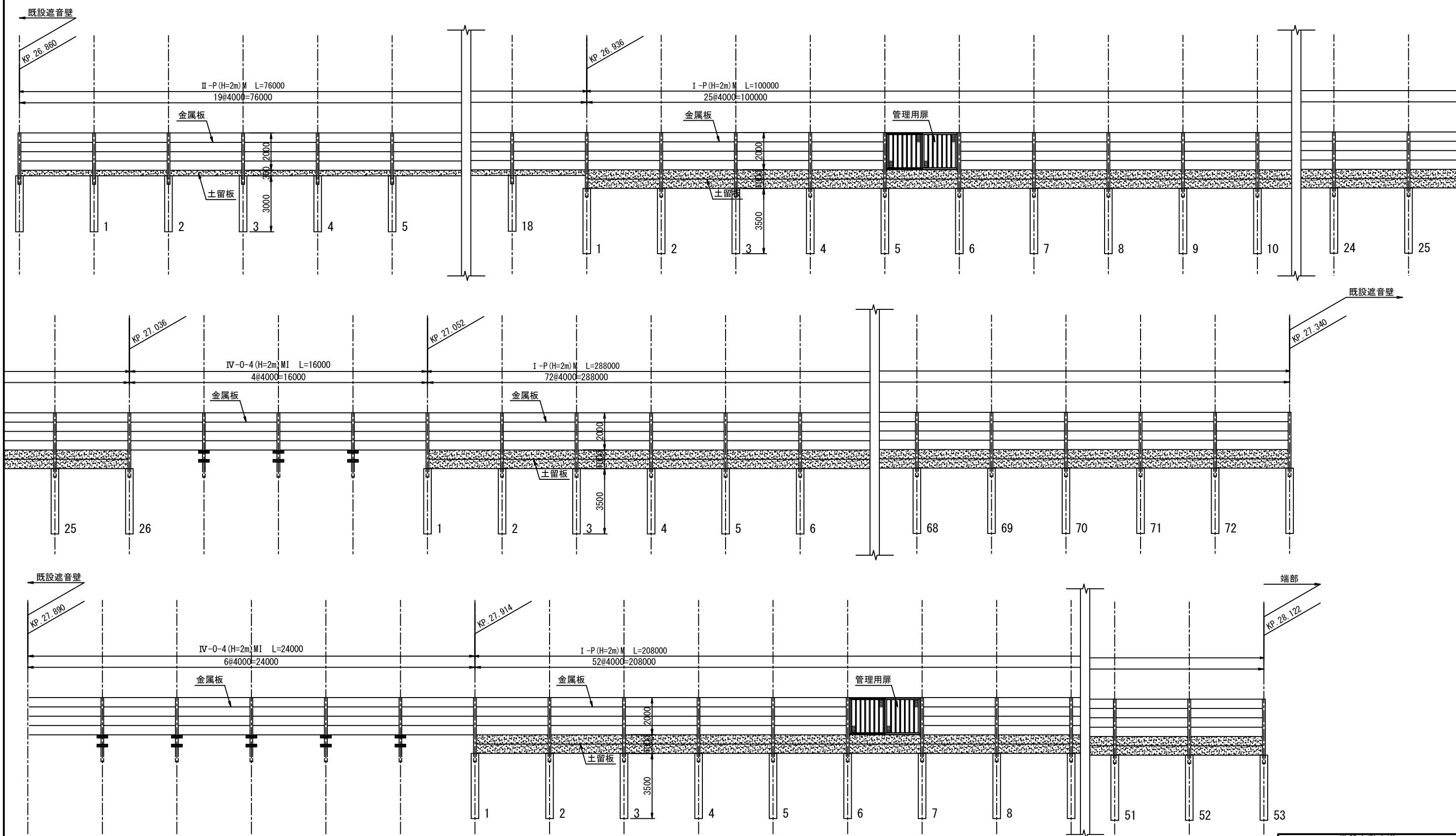


遮音壁割付図(1)  
(新設箇所 上り線)



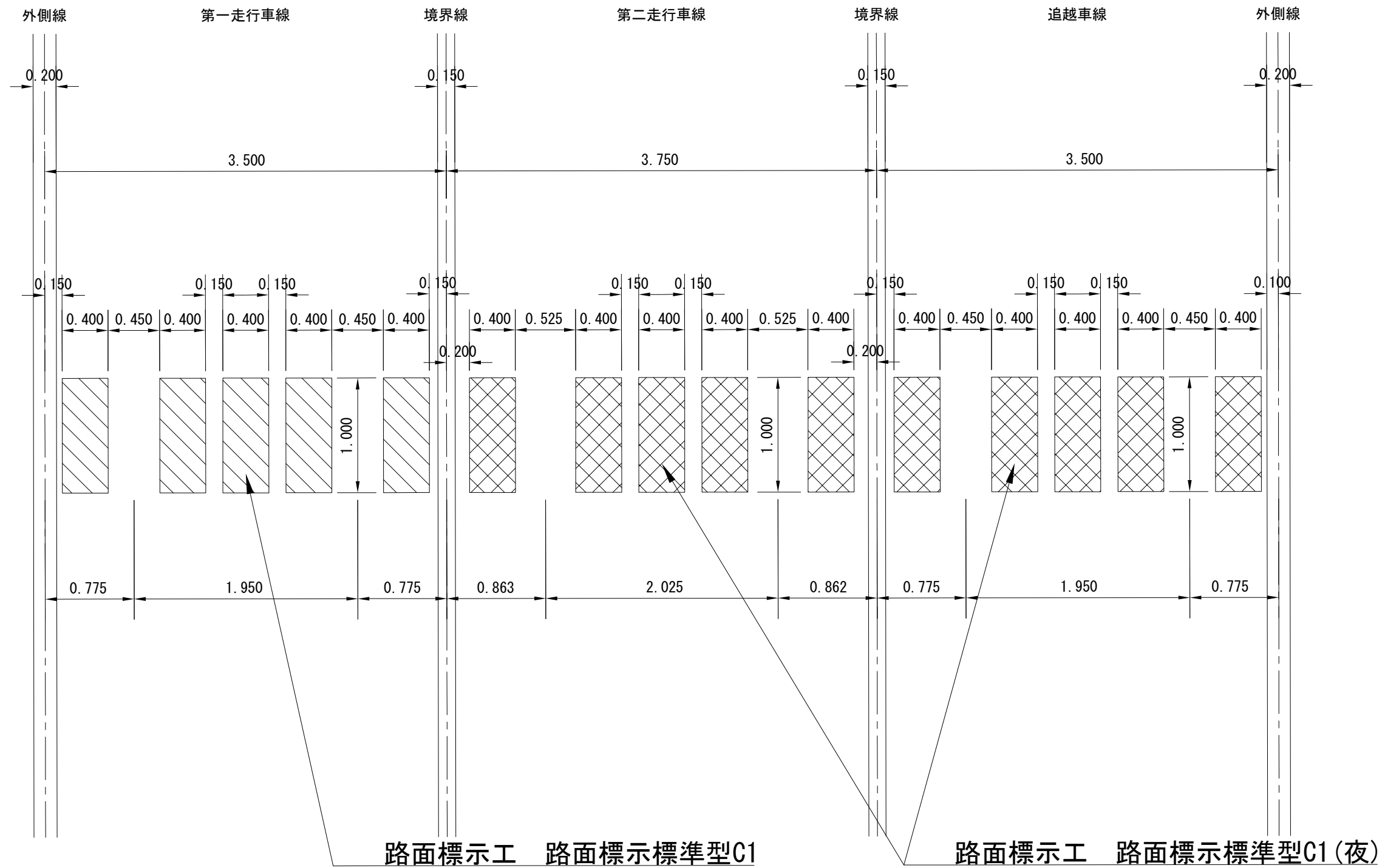
常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	遮音壁割付図(1)		
縮 尺	NTS	図面番号	11 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

遮音壁割付図(2)  
(新設箇所 下り線)



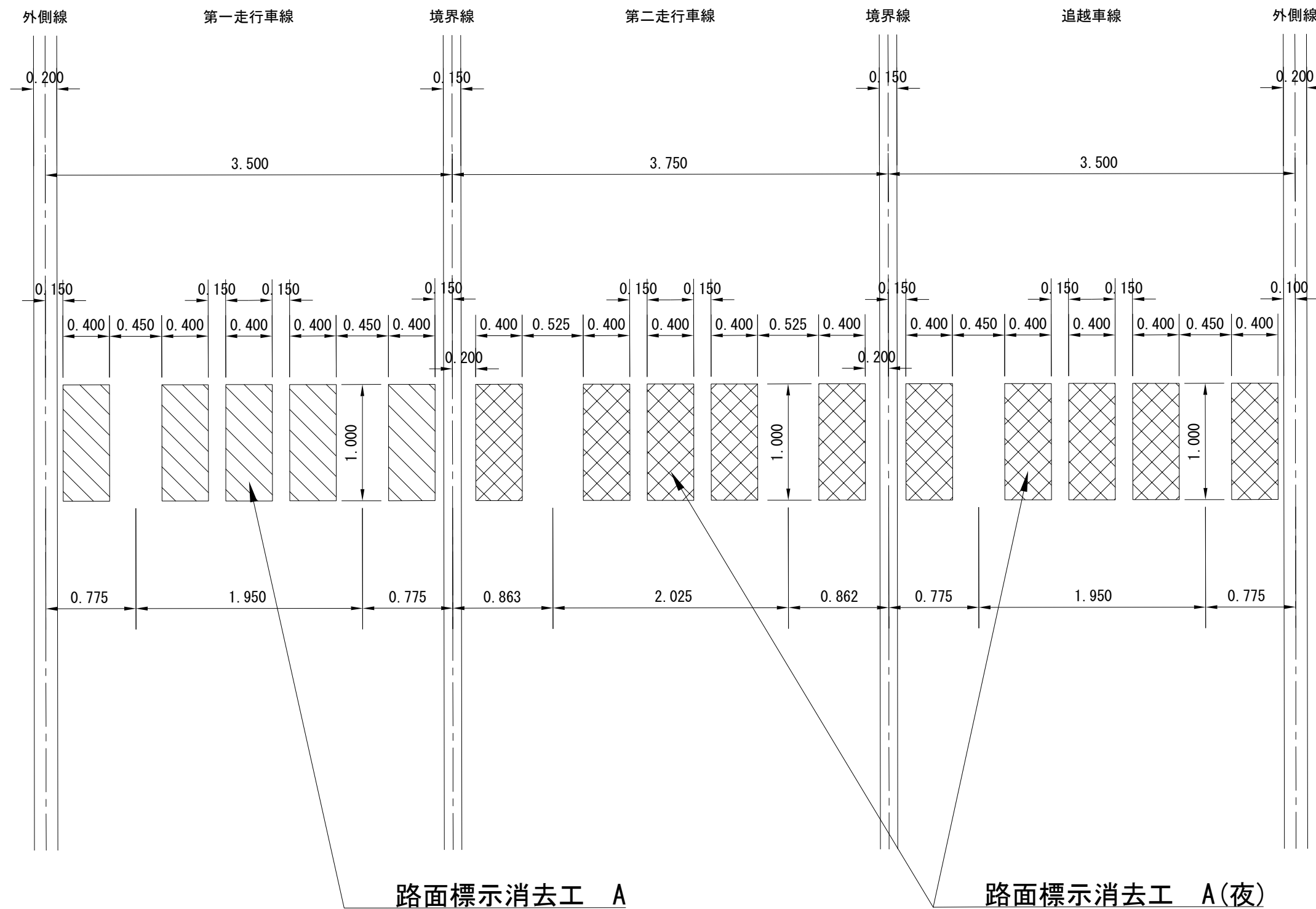
常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	遮音壁割付図(2)		
縮 尺	NTS	図面番号	12 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

路面標示工詳細図 縮尺1:40



常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	路面標示工詳細図		
縮 尺	1 : 40	図面番号	13 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

路面標示消去工詳細図 縮尺1:40



常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	路面標示消去工詳細図		
縮 尺	1 : 40	図面番号	14 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

# 規制計画図(1) (千葉県区間)

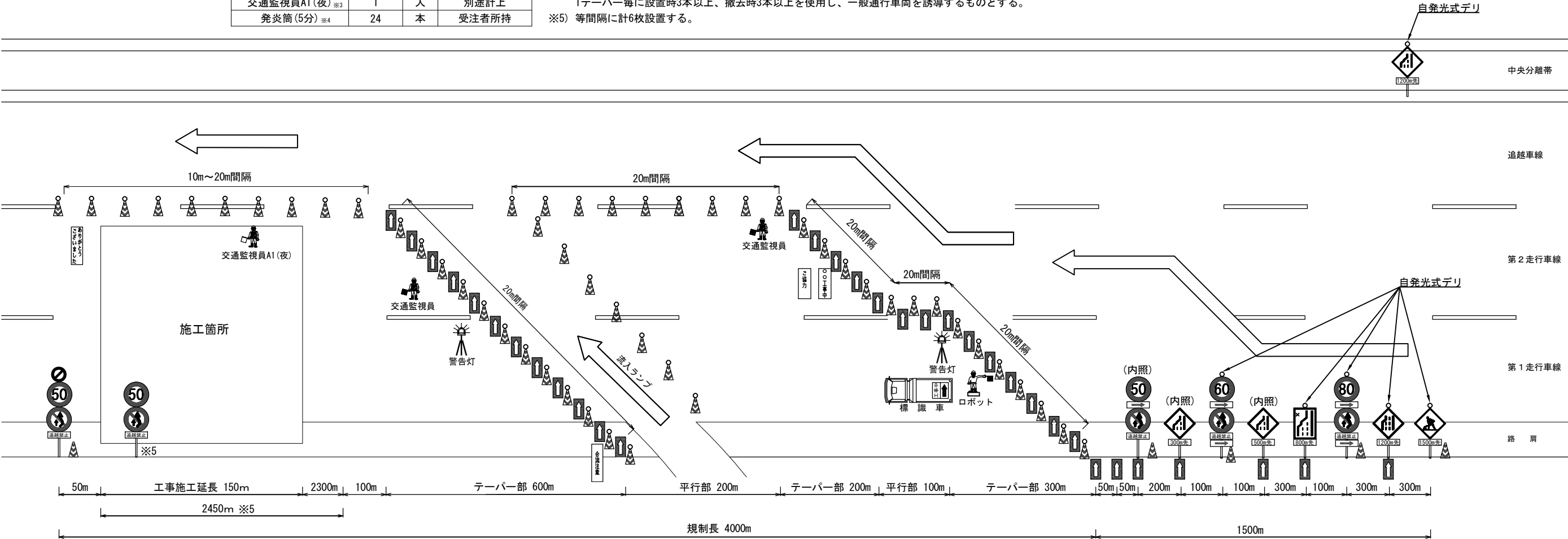
## 2車線規制 IV×1×0 B(夜)

### 車線規制(第一・第二走行車線)(夜間)

3車線区間  
法定速度 100km/h  
以下の適用は流山IC～柏IC(上り線)とする。

数量表 1規制当たり			
名称	数量	単位	単位
予告標識	16	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバコーン	必要数※1	本	貸与品
ラバコーン(デリ付き)	必要数※1	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
警告灯	2	台	貸与品
ロボット	1	台	貸与品
立看板※2	4	枚	貸与品
交通監視員	必要数	人	交通規制工に含む
交通監視員A1(夜)※3	1	人	別途計上
発炎筒(5分)※4	24	本	受注者所持

- ※1) 工事(作業)箇所付近のラバコーンの設置間隔は10mとする。  
※2) 作業中・ご協力・お礼・合流注意の4枚看板を設置するものとする。  
※3) 交通監視員A1(夜)は、工事(作業)箇所に配置するものとする  
※4) テーパー部の規制材設置・撤去時は、1テーパー毎に発炎筒(5分もの)で仮テーパーを設置するものとし、1テーパー毎に設置時3本以上、撤去時3本以上を使用し、一般通行車両を誘導するものとする。  
※5) 等間隔に計6枚設置する。



- 凡例
- 高輝度反射式キャップ+自発光式デリ付きラバコーン
  - 自発光式デリ付きラバコーン
  - 高輝度反射式矢印板
  - 交通監視員(交通規制工に含む)
  - 交通監視員A1(夜)(別検測)

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	規制計画図(1)		
縮尺	NTS	図面番号	15 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

規制計画図(2) (茨城県区間)

路肩規制 I × 1 A

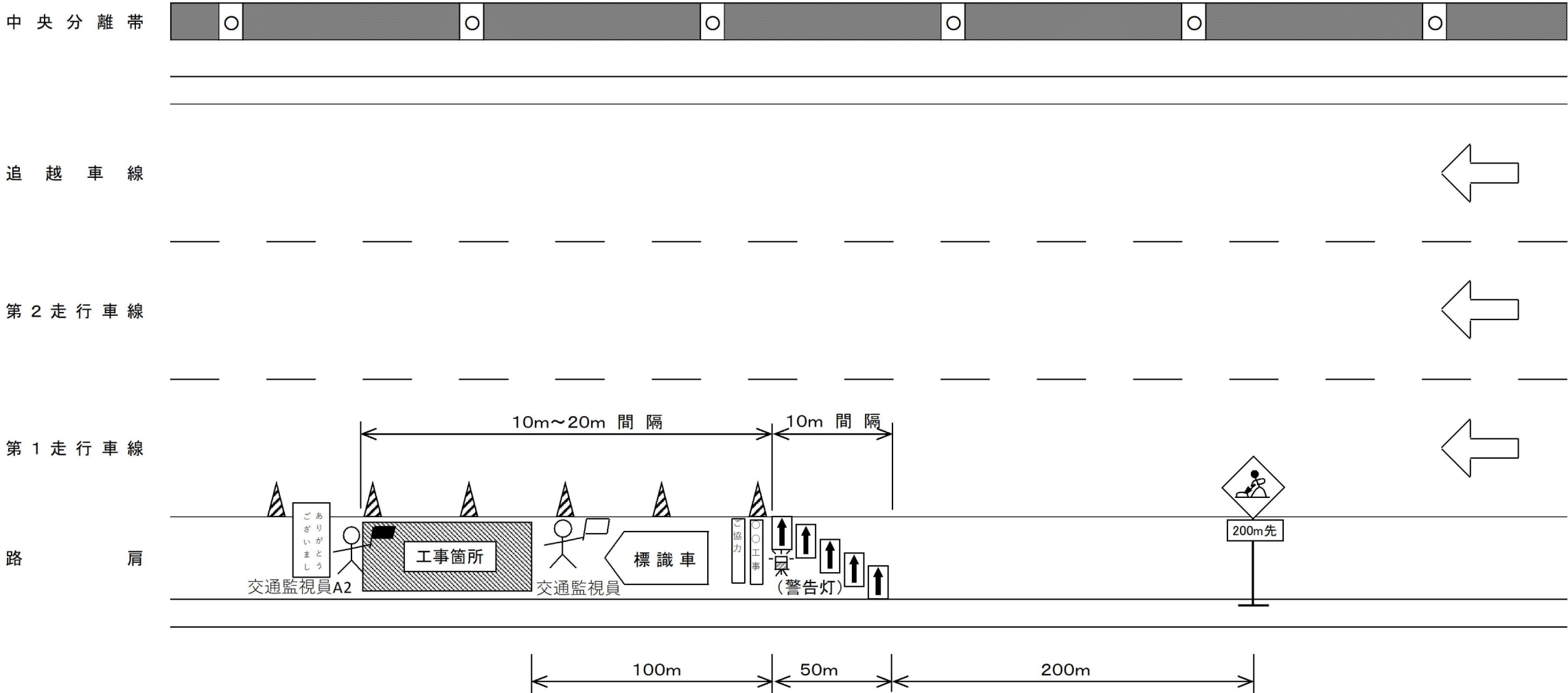
路 肩 規 制

名称	数量	単位	備考
予告標識	1	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数※1	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
警告灯	1	台	貸与品
立看板※2	3	枚	貸与品
交通監視員	必要数	人	交通規制工に含む
交通監視員A2※3	1	人	別途計上
発炎筒(5分)※4	6	本	受注者所持

3 車 線 区 間  
法定速度 100km/h

以下の適用は谷和原IC～谷田部IC(上下線)とする。

- ※1工事(作業)箇所付近のラバーコーンの設置間隔は10mとする。
- ※2作業中・ご協力・お礼の3枚看板を設置するものとする。
- ※3交通監視員A2は、工事(作業)箇所に配置するものとする。
- ※4テーパー部の規制材設置・撤去時は、1テーパー毎に発炎筒(5分もの)で仮テーパーを設けるものとし、1テーパー毎に設置時3本以上、撤去時3本以上を使用し、一般通行車輛を誘導するものとする。



凡例 ▲ :ラバコーン      ↑ :矢印板      交通監視員(交通規制工に含む)      交通監視員A2(別検測)

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	規制計画図(2)		
縮 尺	NTS	図面番号	16 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

規制計画図(3) (茨城県区間)

1車線規制 I × 1 × 0 A1, A2

車線規制(第一走行車線)

3 車 線 区 間

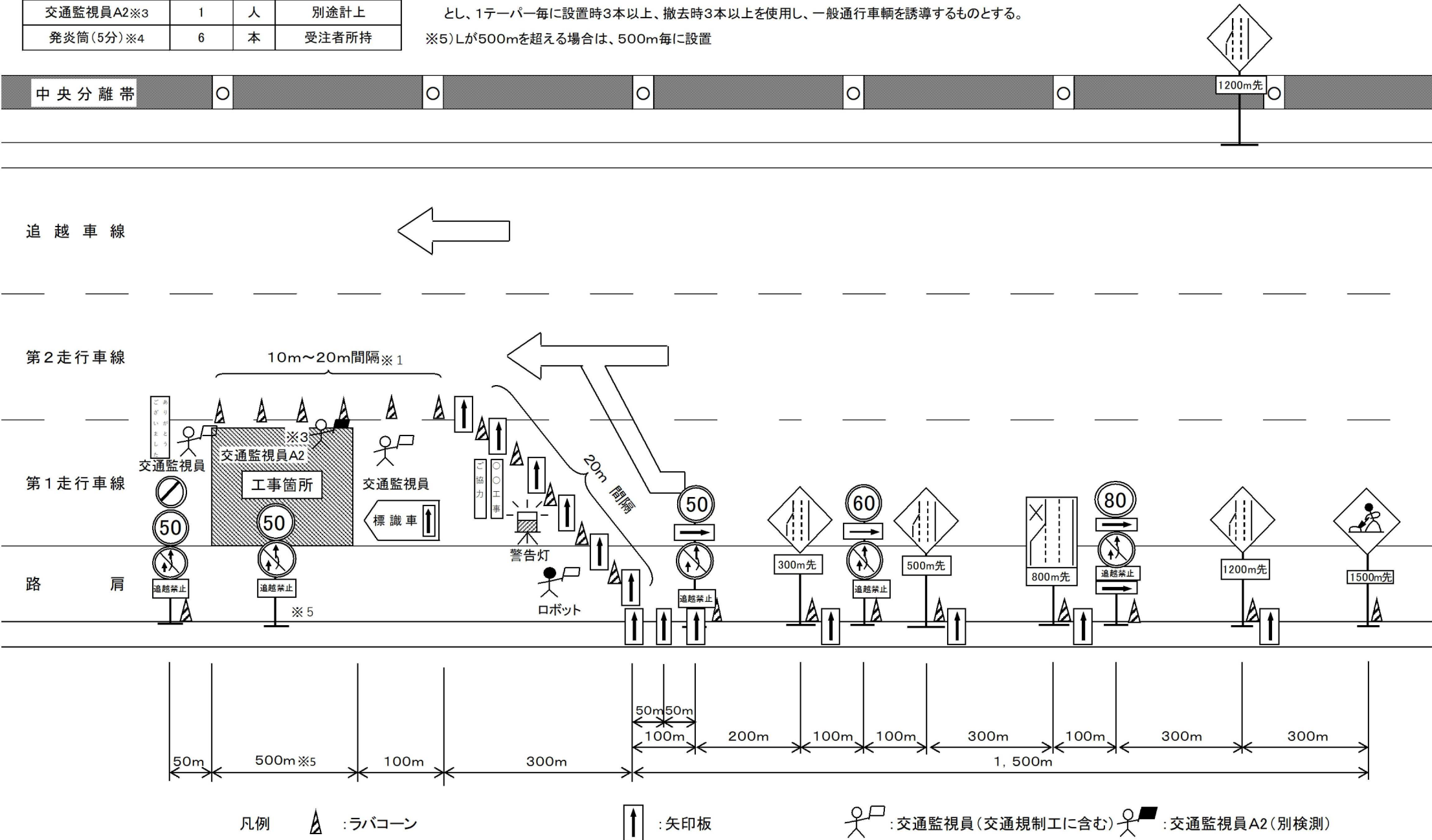
法定速度 100km/h

以下の適用は谷和原IC～谷田部IC(上下線)とする。

数量表 1規制当り

名称	数量	単位	備考
予告標識	11	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバコーン	必要数※1	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
警告灯	1	台	貸与品
ロボット	1	台	貸与品
立看板※2	3	枚	貸与品
交通監視員	必要数	人	交通規制工に含む
交通監視員A2※3	1	人	別途計上
発炎筒(5分)※4	6	本	受注者所持

- ※1) 工事(作業)箇所付近のラバコーンの設置間隔は10mとする。
- ※2) 作業中・ご協力・お礼の3枚看板を設置するものとする。
- ※3) 交通監視員A2は、工事(作業)箇所に配置するものとする。
- ※4) テーパー部の規制材設置・撤去時は、1テーパー毎に発炎筒(5分もの)で仮テーパーを設置するものとし、1テーパー毎に設置時3本以上、撤去時3本以上を使用し、一般通行車輛を誘導するものとする。
- ※5) Lが500mを超える場合は、500m毎に設置



常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	規制計画図(3)		
縮 尺	NTS	図面番号	17 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

規制計画図(4) (茨城県区間)  
2車線規制 II × 1 × 0 A(夜)

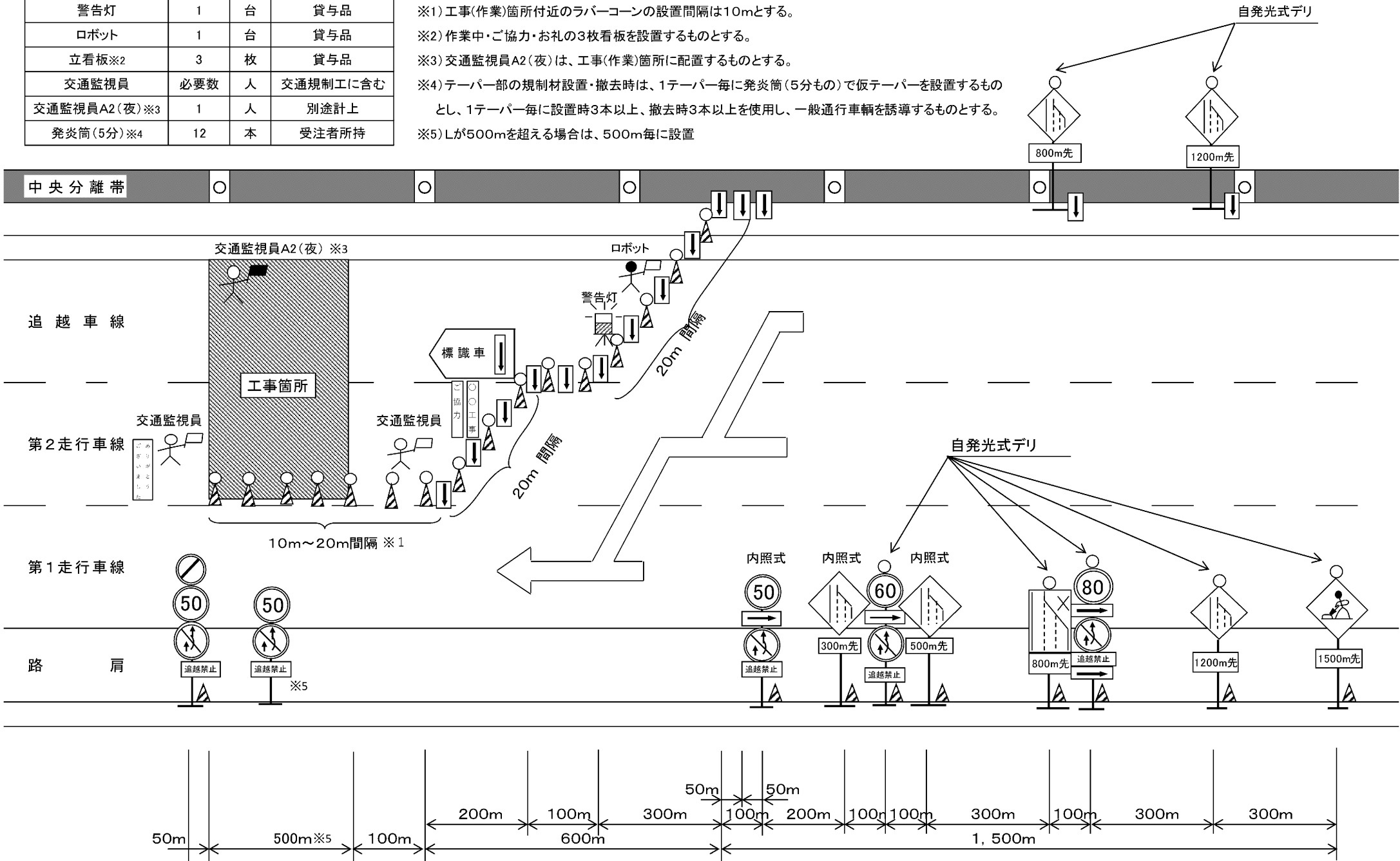
車線規制(第二走行・追越車線)(夜間)

3 車 線 区 間  
法定速度 100km/h  
以下の適用は谷和原IC～谷田部IC(上り線)とする。

数量表 1規制当り

名称	数量	単位	備考
予告標識	12	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数※1	本	貸与品
ラバーコーン(デリ付き)	必要数※1	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
警告灯	1	台	貸与品
ロボット	1	台	貸与品
立看板※2	3	枚	貸与品
交通監視員	必要数	人	交通規制工に含む
交通監視員A2(夜)※3	1	人	別途計上
発炎筒(5分)※4	12	本	受注者所持

- ※1) 工事(作業)箇所付近のラバーコーンの設置間隔は10mとする。  
※2) 作業中・ご協力・お礼の3枚看板を設置するものとする。  
※3) 交通監視員A2(夜)は、工事(作業)箇所に配置するものとする。  
※4) テーパー部の規制材設置・撤去時は、1テーパー毎に発炎筒(5分もの)で仮テーパーを設置するものとし、1テーパー毎に設置時3本以上、撤去時3本以上を使用し、一般通行車輛を誘導するものとする。  
※5) Lが500mを超える場合は、500m毎に設置

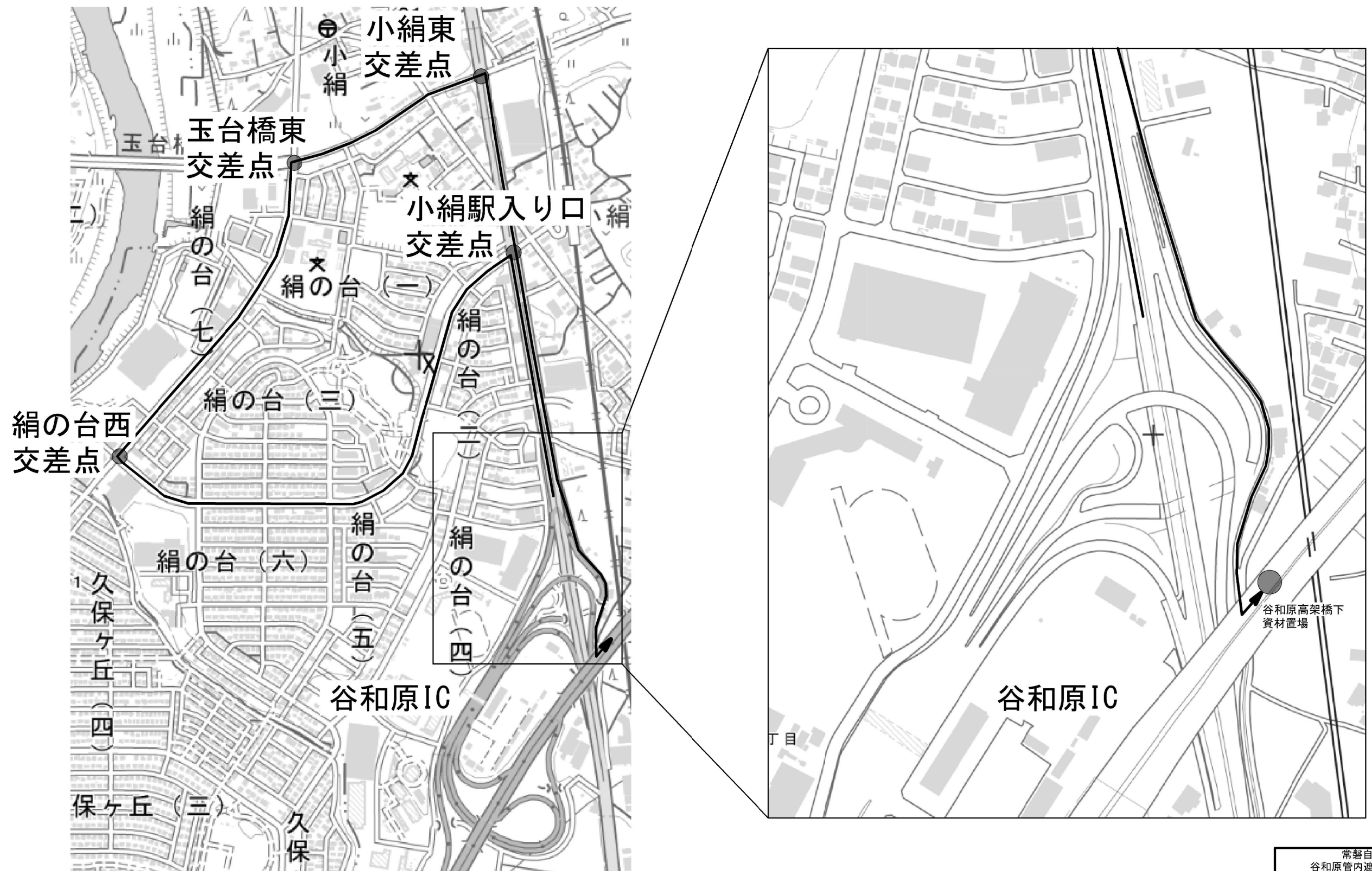


凡例  
○ : 高輝度反射式キャップ + 自発光式デリ付きラバコーン  
▲ : 高輝度反射式キャップ付きラバコーン  
↑ : 高輝度反射式矢印板  
人 : 交通監視員(交通規制工に含む)  
人 : 交通監視員A2(夜)(別検測)

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	規制計画図(4)		
縮 尺	NTS	図面番号	18 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		



# 資材運搬経路図(参考図)



地理院地図（国土地理院）（<https://maps.gsi.go.jp/>）をもとに、東日本高速道路（株）が加工

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	資材運搬経路図(参考図)		
縮 尺	NTS	図面番号	19 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

市道規制計画図(参考図)

市道規制(カルバートボックス)

C-Bx 34~37

側道

高速道路縁地

高速道路

高速道路縁地

側道

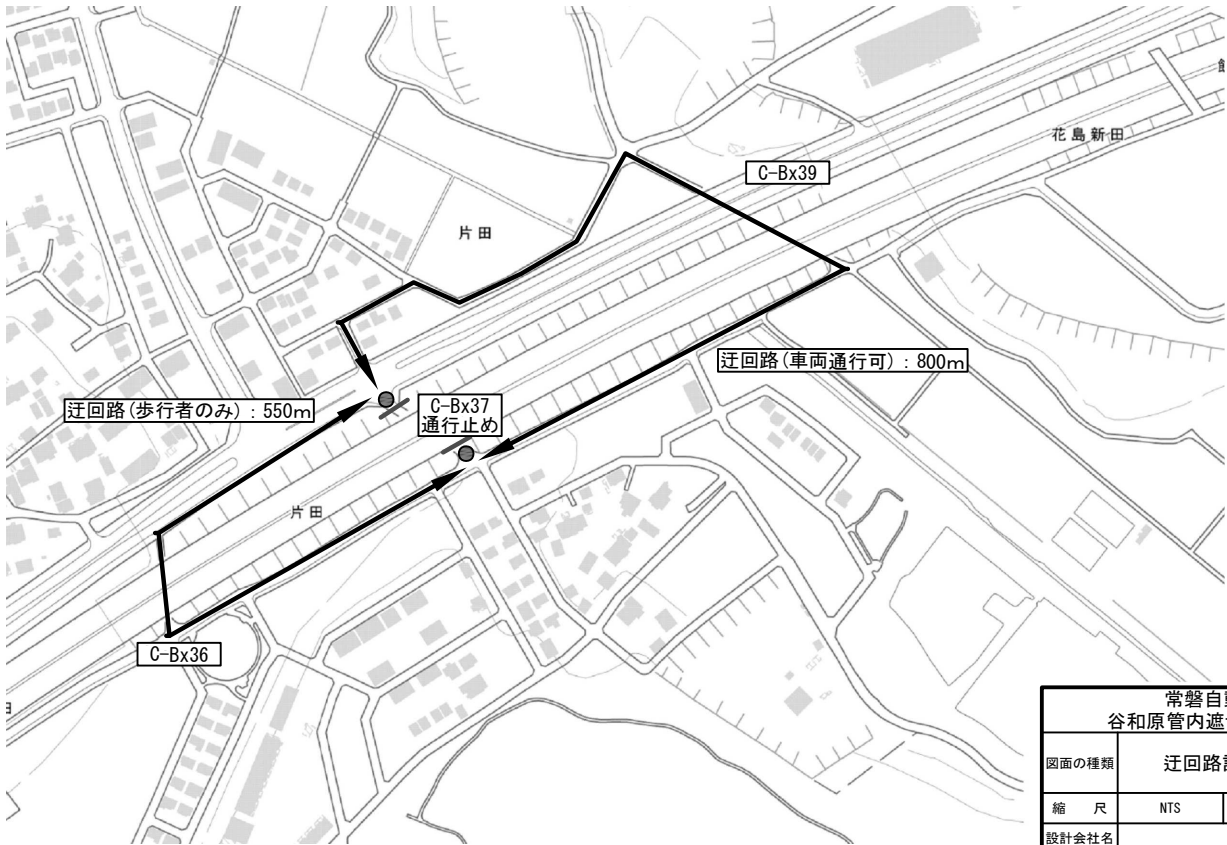
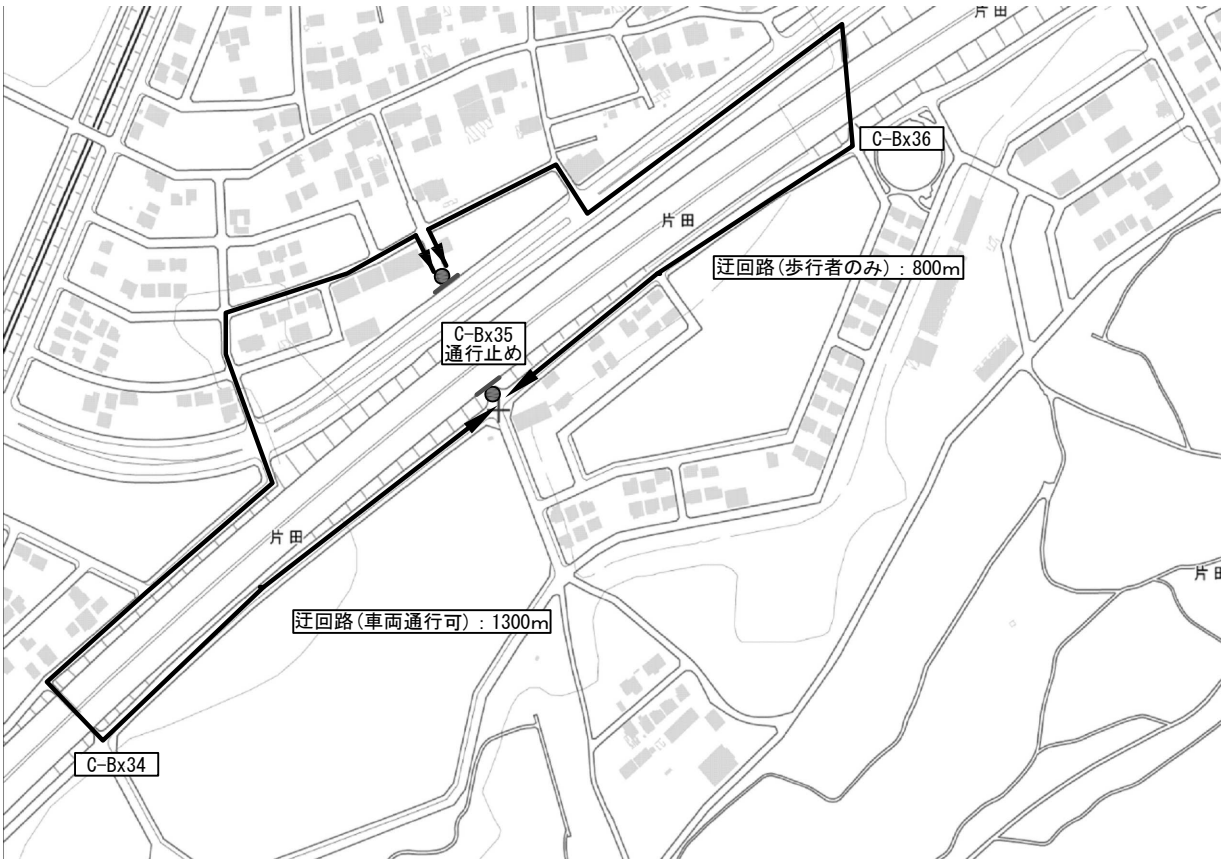
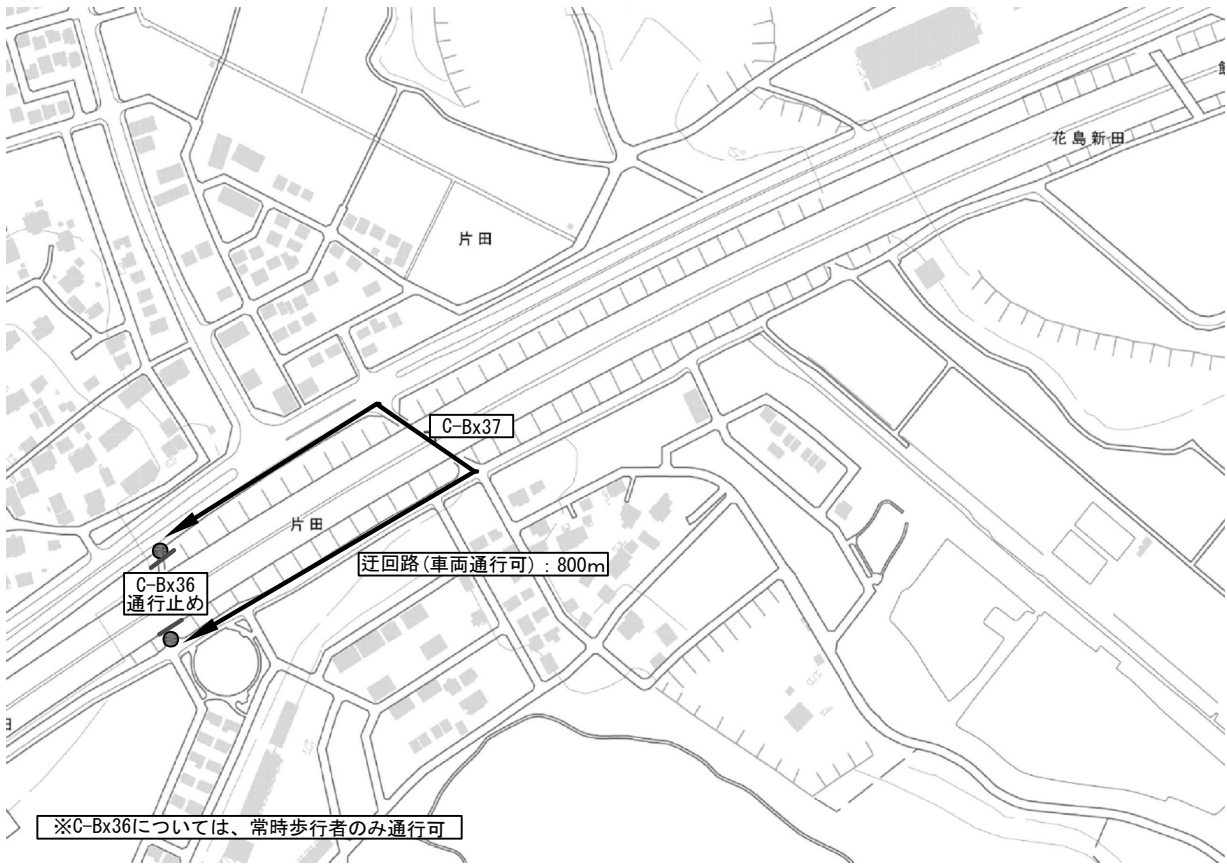
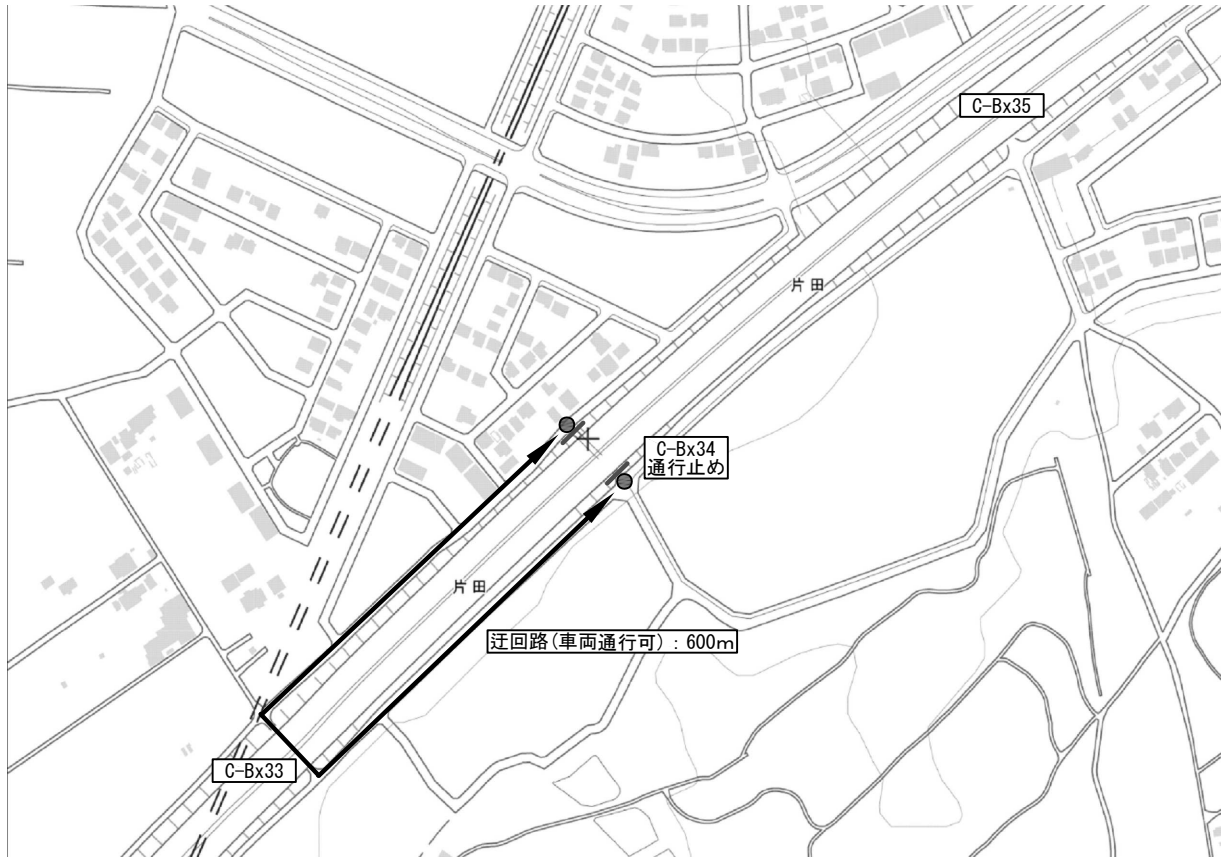
交通誘導警備員B

工事箇所

交通誘導警備員B

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	市道規制計画図(参考図)		
縮 尺	NTS	図面番号	20 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

迂回路計画図(参考図)



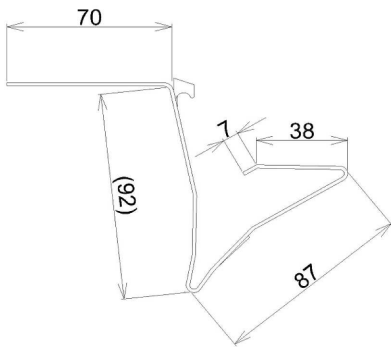
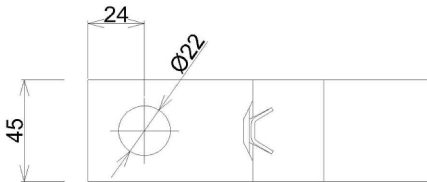
地理院地図（国土地理院）（<https://maps.gsi.go.jp/>）をもとに、東日本高速道路（株）が加工

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	迂回路計画図(参考図)		
縮 尺	NTS	図面番号	21 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

# 固定金具詳細図（参考図）

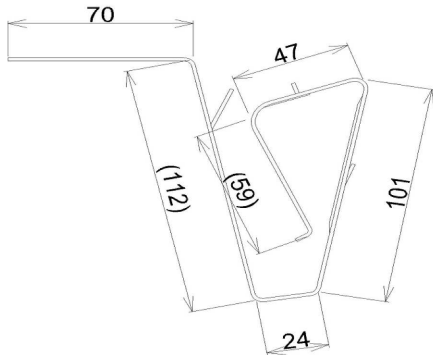
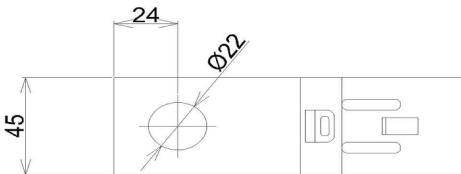
（低騒音型）

H125用固定金具  
(材質SUS301, 板厚: 1.5mm)



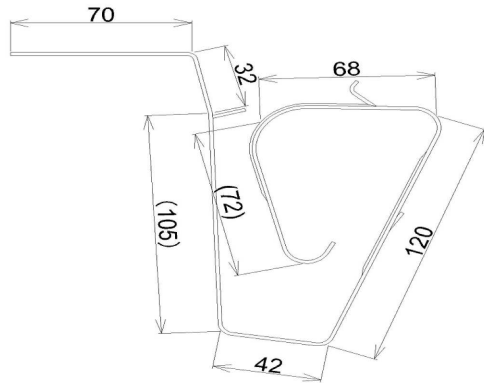
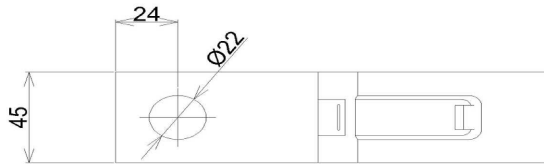
材料規格  
材質: パネ鋼JISG4313のSUS301-CSP3/4H  
または同等以上: 1.5t。  
固定金具の性能  
1、H形鋼支柱および遮音壁の寸法許容差を考慮した隙間  
に対して固定金具として有効に作用すること。  
2、隙間12mmのときのパネ反力が2000N以上であること。

H150用固定金具  
(材質SUS301, 板厚: 1.5mm)



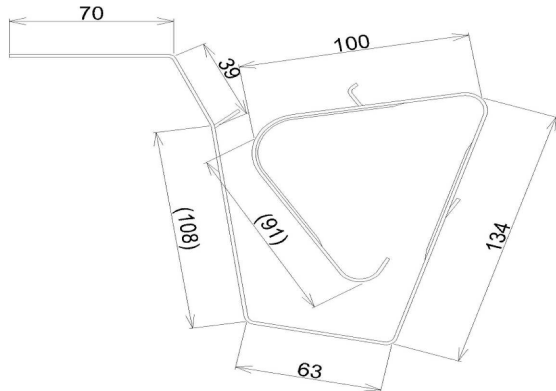
材料規格  
材質: パネ鋼JISG4313のSUS301-CSP3/4H  
または同等以上: 1.5t。  
固定金具の性能  
1、H形鋼支柱および遮音壁の寸法許容差を考慮した隙間  
に対して固定金具として有効に作用すること。  
2、隙間35mmのときのパネ反力が2000N以上であること。

H175用固定金具  
(材質SUS301, 板厚: 1.5mm)



材料規格  
材質: パネ鋼JISG4313のSUS301-CSP3/4H  
または同等以上: 1.5t。  
固定金具の性能  
1、H形鋼支柱および遮音壁の寸法許容差を考慮した隙間  
に対して固定金具として有効に作用すること。  
2、隙間58mmのときのパネ反力が2000N以上であること。

H200用固定金具  
(材質SUS301, 板厚: 1.5mm)

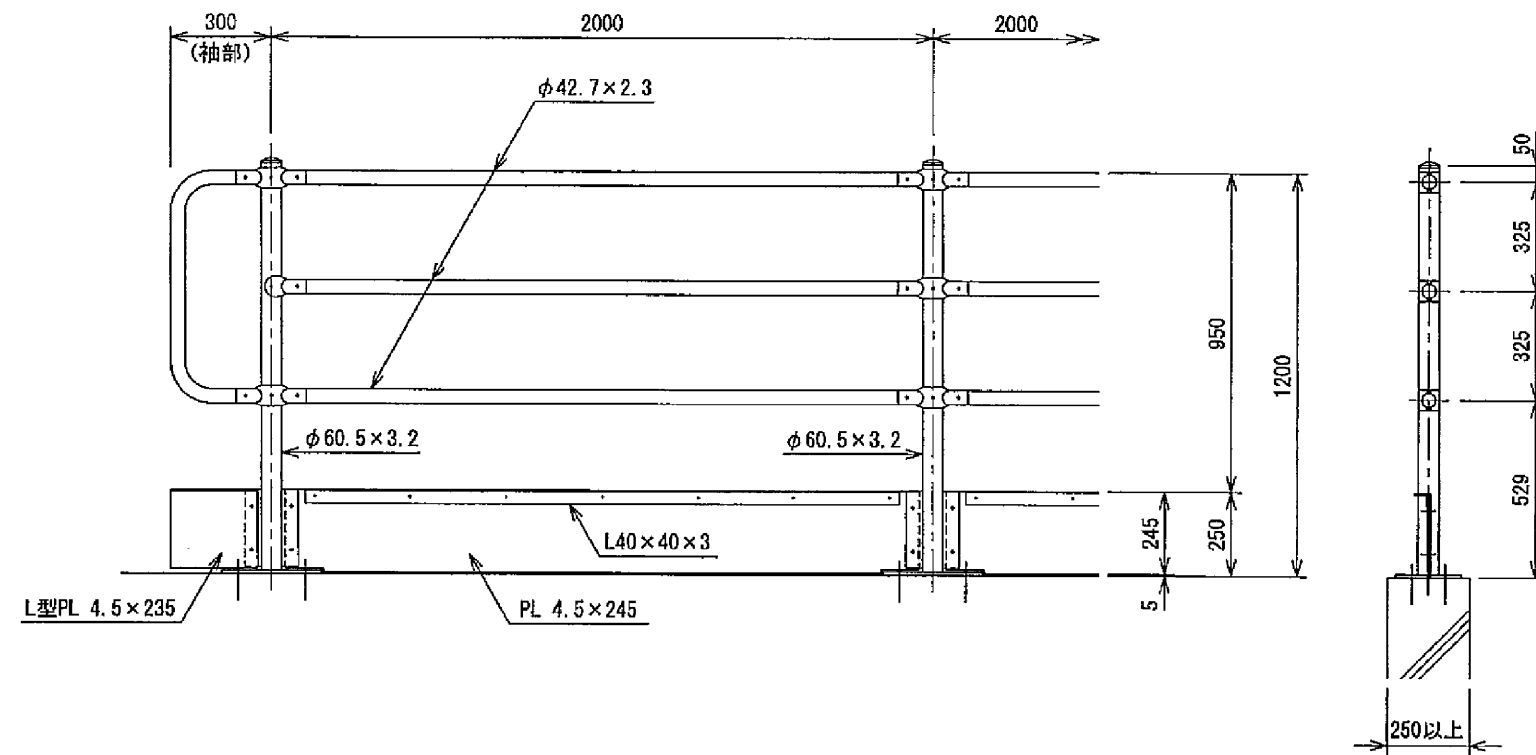


材料規格  
材質: パネ鋼JISG4313のSUS301-CSP3/4H  
または同等以上: 1.5t。  
固定金具の性能  
1、H形鋼支柱および遮音壁の寸法許容差を考慮した隙間  
に対して固定金具として有効に作用すること。  
2、隙間81mmのときのパネ反力が2000N以上であること。

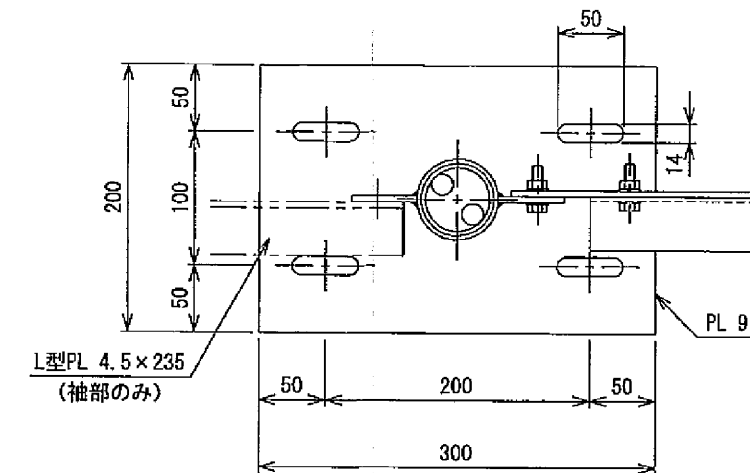
常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	固定金具詳細図 (参考図)		
縮 尺	NTS	図面番号	22 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		

# 転落防止柵撤去工詳細図（参考図）

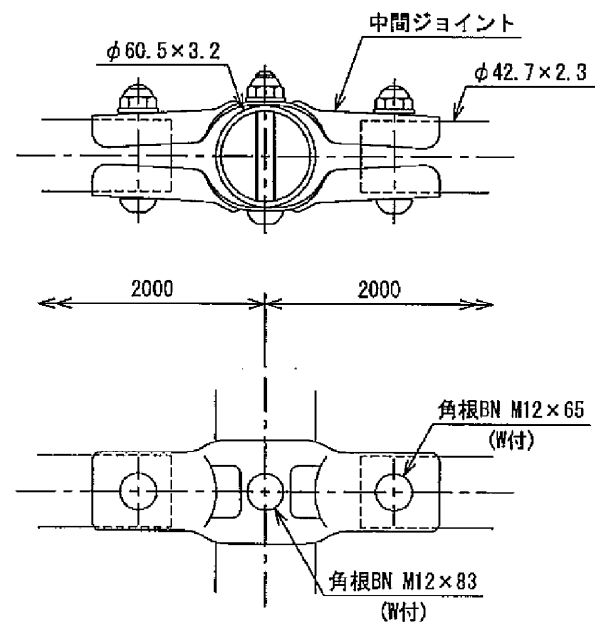
転落防止柵 H1200（特）  
[3段ビームタイプ] S=1:20



柱脚部取付図 S=1:4



ビーム取付図 S=1:4



設計条件  
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

## 注記

- 外装は下記とする。
  - 支柱、ビーム・・・HDZ55
  - 隙間防止プレート・・・HDZ45
  - 補強アングル
  - ビームジョイント・・・HDZ40
  - その他部品、部材・・・HDZ35
- ベースプレートの穴径は本図で施工上支障ないか確認を要す。

材料表

部材名	規格	部材名
支柱	φ60.5×3.2	JIS G 3444 STK400
ビームパイプ	φ42.7×2.3	JIS G 3444 STK400
アングル	L40×40×3	JIS G 3101 SS400
隙間防止プレート	t=4.5	JIS G 3101 SS400
ジョイント	t=2.3	JIS G 3101 SS400
ボルト	M8 M12	JIS B 1180 準拠 4.8
ナット	M8 M12	JIS B 1181 準拠 5

常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事			
図面の種類	転落防止柵撤去工詳細図 (参考図)		
縮 尺	NTS	図面番号	23 / 23
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 谷和原管理事務所		